

## 教育



## 自己肯定感低く、人間関係を重視

自己肯定感が低く、友達と常に「つながっていたい」と感じている。こんなイマドキの高校生像が、高校生への生活・意識調査から浮かび上がり、西宮市内で開催された学校保健研究大会で紹介された。

調査は、全国高等学校PTA連合会が2011年8～9月に実施。全国6300人余りの高校2年生が回答した。「自分は長所がなく、欠点ばかりだと思っている」「欠点があるのか長所があるのか自己分析できない」など、自分を肯定できない男子は35・5%、女子は39・7%に上った。

では、自分の価値を一番感じるのとはどんなときか。「誰

## 意識調査に見る「イマドキの高校生」

かの役にたっているとき」が調査・集計した京都大大学院医学研究科の木原雅子准教授(社会疫学)は「どの理由が自分を評価したとき」「何がほかの人よりもよくできているとき」「グループ内の人間関係がうまくいっているとき」と続く。

調査・集計した京都大大学院医学研究科の木原雅子准教授(社会疫学)は「どの理由が自分を評価したとき」「何がほかの人よりもよくできているとき」「グループ内の人間関係がうまくいっているとき」と続く。

調査・集計した京都大大学院医学研究科の木原雅子准教授(社会疫学)は「どの理由が自分を評価したとき」「何がほかの人よりもよくできているとき」「グループ内の人間関係がうまくいっているとき」と続く。



「いじめ、体罰など子どもたちを取り巻く状況は深刻だが、その未来は大人のやる気にかかっている」と話す木原雅子准教授「西宮市甲東園3、甲東ホール」

## 京都大大学院 木原准教授が西宮で講演

信頼感が低い生徒ほど、自尊心も低いという結果も出ている」と分析する。

また、女子の半数が昼食時間などに「友人と一緒にいないと恥ずかしい」と感じている。09年に実施した同様の調査で、1日のケータイ使用時間も女子は平均4・2時間と、男子2・8時間と比べてかなり長い。

「友達からのメールは15分以内に返信しなければ失礼という意見も聞いた。子どもたちは1日中、ケータイを所持し、つながっていたいと思っている」と木原准教授。「バーチャルな人間関係に費やす時間はどんどん増えている。ネット社会になり、情報量は格段に増えたが、実体験はその分減っている。精神的な自立は遅いように思う」と話した。

(鈴木久仁子)